

## 令和3年度「夏休み子ども科学研究室」を開催しました

とやま科学技術週間に、小学生を対象に夏休み子ども科学研究室「サイエンス・ラボ～身近な環境を科学しよう！～」を開催したところ、のべ168人の方にご参加いただきました。サイエンス・ラボでは、科学実験や工作を通して、環境保全への関心と理解を深め、環境保全行動について学びました。

- ・ 日 時 令和3年7月21日（水）から8月10日（火）の平日  
10:00～12:00、13:30～15:30
- ・ 場 所 環境楽習室エコ・ラボとやま（富山県環境科学センター）
- ・ 参加人数 のべ168名（幼児、小学生、保護者）
- ・ 内 容

### 【水の実験】



河川水や家庭から出る排水の汚れを調べ、水を汚さないための行動を学びました。

### 【温暖化の実験】



地球温暖化や温暖化の影響について学び、環境に優しいライフスタイルを考えました。

### 【音の実験】



音の性質や騒音防止対策について学ぶとともに、試験管を使って音を作り演奏しました。

### 【マイクロプラスチックの実験】



プラスチックの種類や性質について学び、プラスチック問題について考えました。

### 【工作】



温度計マグネットや紫外線の強さがわかるグッズを作り、地球温暖化や紫外線と関連する大気汚染について学びました。

### 【児童の感想（一部）】

- ・ほんの少しの身近な物でもかなりよごれていることにおどろきました。水をよごさないようにしようと思いました。
- ・温暖化の危険性や電気の大切さが身近なことで感じられた。電気は人の力では簡単にはできないから大切に使います。
- ・マイクロプラスチックを探す実験や生分解性プラスチックを作る実験が楽しかったので、家で挑戦してみたいです。プラスチックをすてない。
- ・そう音を減らす工夫を考えたい。自分で音を作るのがたのしかった。
- ・紫外線のことについて少ししか分かってなかったけどしっかり知れてよかった。紫外線でビーズの色がかわってびっくりしました。
- ・とても楽しかったです。はじめて科学研究室に参加したけど、また参加したいなと思いました。